

Doc.No : NR020215

2002年2月15日

グラビア電子彫刻システム「バルカス」、出荷台数100台達成

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区/社長：石田 明)が製造販売しているグラビア電子彫刻システム「バルカス」がこのほど、出荷台数100台を達成しました。

2月13日、100台目となるグラビア電子彫刻機の販売を記念して、納入先である松尾グラビア製版株式会社様において記念セレモニーを開催しました。セレモニーには松尾グラビア製版社長・松尾紀昭様、当社上席執行役員・メディアテクノロジー事業本部長森野富次をはじめ、両社社員、販売代理店関係者らが出席。当社から松尾社長様に記念品として、彫刻機の針をイメージしたクリスタル製の置物を贈呈しました。

松尾グラビア製版様は主に、医療品や米、肥料、食料品、雑貨などの包装印刷向け製版事業を幅広く展開されており、このたび、システムのフルデジタル化や自動化を実現するため、グラビア電子彫刻機GE-3150と16本収納可能なシリンダー自動着脱システムを導入されました。松尾社長様は関西グラビア製版工業会会長を務められているとともに、全国グラビア製版工業会連合会副会長としてもご活躍されています。

「バルカスGEシリーズ」はオンラインで画像データを受け取り、ダイヤモンド製のスタイラスでシリンダーに高速で彫刻できるのが特長。シリンダーサイズ自動検出機能や、自動テストカット、自動スキップ機能など、特許取得済みの独自機能を搭載し、作業を自動化することで生産性の向上を実現した装置です。



松尾グラビア製版(株)松尾社長様(左)と大日本スクリーン製造(株)森野上席執行役員(右)で記念撮影。後ろはバルカスGE-3150

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室：Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上ル4丁目